

学 習 指 導 案

岩手県立宮古工業高等学校

- 1 授業者氏名 北 田 昌 志
- 2 日 時 平成24年9月19日(水) 4・5・6校時
- 3 対象学級 電気電子科1年 22名(男子22名) 2班7名
- 4 場 所 電気電子科工作実習室
- 5 科目・単元 工業技術基礎 「電力調節器の製作」
- 6 使用教科書 電力調節器の製作プリント
- 7 本時の位置 電力調節器の製作(15時間配当)の 1～3時間目
- 8 指導目標 (1) 製作にあたり丁寧さ、かつ製作時間の重要性について理解させる。
(2) 製造物責任法(PL法)について理解させる。
- 9 前提条件 工具などについて使用方法を理解していること。
- 10 本時の指導計画

段 階	学 習 内 容	学 習 活 動	指導上の留意点	評価の観点と評価方法
導入 10分	本時の目標説明 電力調節器のケースをけがき、穴あけをする。	作業内容の確認をする。	本時の作業内容を理解させる。	[関心・意欲・態度] ・専門分野への興味、関心 ・授業参加への積極性や意欲 ・作業および学習への態度
展開 130分	製造物責任法について説明 (意義、責任の概要、欠陥) ケースを寸法のとおり加工 ①設計図を参考に1枚板上ケース、下ケース、放熱板に分けるため、けがきをする。 ②シャーで切断する。 ③設計図を参考に上ケース、下ケース、放熱板にけがきをする。 ④穴を開ける所にポンチでしるしを付ける。 ③ボール盤で穴を開ける。 大きい穴も小さいドリルであけていく。 ④バリを取る。	製造物責任法とは何か、考える。 ①けがきをする。 ②シャーで切断する。 ③けがきをする。 ④ポンチでしるしを付ける。 ③ボール盤で穴を開ける。 ④バリを取る。	製造物責任法についてアンケートを取ってから説明し考えさせる。 けがき棒の使用方を説明し理解させる。 机間巡視。 シャーの使用方を説明し理解させる。 ポンチの使用方を説明し理解させる。 ボール盤の使用方を説明し理解させる。 バリの取り方を教える。	[思考・判断・表現] 製作過程についての思考 ・適切に判断し報告 [技能] 技術の活用 [知識・理解] ・加工方法の理解
まとめ 10分	①本時のまとめ 進行状況の確認 ②次回予告 寸法どおりに下ケースを加工する。	①作業の進行状況の確認をさせる。 ②下ケースの加工	進行状況を把握する。 次回の予告をする。	・方法 「プリントの記入状況」、「実習報告書の点検」による。

